

一般社団法人はなそう基金 2016年度12月末決算

2017年3月31日

一般社団法人はなそう基金

代表理事 古森 剛

2016年度 決算について

「一般社団法人はなそう基金」を応援して下さっている会員及びパートナーの皆さま、いつもありがとうございます。

おかげさまで、当基金は2017年3月6日に設立満5年を迎えることができました。東北被災地の復興はまだ道半ばであり、都市のハード面だけでなく人・組織・カルチャーなどのソフト面を含む復興・新興には長い時間を要すると思われれます。当基金の活動にも、長期のコミットメントが求められることをあらためて痛感しております。

当基金設立に先立って2011年11月に発足した「Komo's英語音読会@陸前高田」と、そこから派生した様々な活動の継続により、着実に素晴らしい変化・進展が見えて来ております。これまでの5年以上に及ぶ継続的な活動が皆さまのご支援で可能となったことに心より感謝しつつ、2016年度の決算についてご報告いたします。

今般の決算においては、前年度戦略的に経費投入をして結果的には赤字で締め括った決算を、再び健全な黒字状態に戻すことが出来ました。非営利事業(非課税)においては、収入が4,202,237円、当期純利益が1,223,385円となっております。非営利事業の収入の9割以上が寄付金であり、寄付金総額は過去5年間で最高となる3,872,150円でした。

寄付金に関しましては、金額の多寡を問わずすべてのご寄付に込められたお心を有難く感じております。なお、寄付金全体への比率が大きかった、特定のテーマに基づく大型寄付源は以下の通りとなっております。

- ・「チャリティー “ほろ酔い” 英語音読会」の参加者からの寄付、および年初の合宿からの寄付： 約57万円
- ・「英語でまるごと夏祭り in 陸前高田」のクラウドファンディング (Campfire経由)： 約46万円
- ・「英語でまるごと夏祭り in 陸前高田」向け、藤島真理さんからのAdobe社経由ご寄付： 約31万円
- ・佐藤貞一さん・紺野有希望さんのバルセロナ訪問に伴うKorekara Japonさんからのご支援： 約19万円
- ・「RUN for はなそう基金」(任意の当基金サポーター団体)からの寄付： 約17万円
- ・MERCER Japan / MARSH Japan における企業クローズド形式のチャリティー英語音読会： 約15万円
- ・「英語でまるごと夏祭り in 陸前高田」向け、EY税理士法人さんからのご支援： 約10万円

一方、上記に挙げさせて頂いた大型寄付源を足しても寄付金全体の約6割ですので、当基金の財政面がいかに一つ一つの個人や団体からのご支援に支えられているかが伺えます。また、クラウドファンディングを経由しない直接寄付で、「英語でまるごと夏祭り in 陸前高田」の準備期の呼びかけに対して賛助を頂いたケースも多々ございました。すべてのご支援と、その背景にある皆さまの思いやお心に、当基金を代表して感謝の意をお伝え致したいと存じます。

2016年度 決算について

費用面では、2016年度に始めた新しい取り組み、「まるごと英語で夏祭り in 陸前高田」に関わる費用(約118万円)が最大の経費投入先となりました。一方、前年度の戦略的経費投入の対象であった、気仙沼・東陵高校の生徒さんを長野での英語サマーキャンプ(SCOA)へ派遣する施策は、当年度は上記イベントに統合しました。

陸前高田で英語関連のイベントを開催することにより、「Komo's英語音読会@陸前高田」への参加者だけでなく、近隣地域の幅広い年齢層を対象に、英語に親しむ機会を提供できるようになりました。また、当イベントの実施に伴い寄付金収入も増え、当基金全体の財政にプラスの効果が生じていることも重要な側面としてここに申し添えます。

その他の主要な経費投入先は、以下の通りです。

- ・「Komo's英語音読会@陸前高田」に関わるガソリン代・高速道路代： 約46万円
- ・ 英語サマーキャンプ(SCOA)への中高生派遣に伴う参加費及び交通費支援： 約20万円
- ・ 三陸訪問ツアーやイベント開催に関わるレンタカー代等： 約19万円
- ・ 陸前高田における懇親バーベキューや地元交流・懇親会等： 約17万円

他に、「Komo's英語音読会@陸前高田」の会場使用、「英語音読会だより」やクリスマスカード等の印刷や送付、バルセロナ派遣中の諸費用、ウェブのメンテナンス、三陸鉄道イベント、クレジットカード寄付関わる諸手続き及び手数料、士業費用、租税公課 等があります。なお、経費は必ずしも一方的に支出になるものばかりではありません。陸前高田を往復する代表車のガソリン代や高速道路代は、同乗したボランティア講師から別途定額の寄付を頂くことで間接的・部分的に相殺されまます。現地懇親会等の費用も、参加費を頂くことで部分的に回収しているものもあります。

当基金として6年目となる2017年度以降も、地道に着実に継続的に、東北被災地の現実の人間社会に向かいながら、活動の充実へと取り組んで参ります。皆さまの引き続きのご支援を心よりお願い申し上げます。あの、当基金の各種活動内容につきましては、ウェブサイト(<http://www.lets-talk.or.jp/>)やFacebook(<https://www.facebook.com/letstalk.hanasokikin/>)の記載を是非ご覧いただければと存じます。

2017年3月
一般社団法人はなそう基金
代表理事 古森 剛

2016年度 貸借対照表

2016年12月31日 (単位:円)

資産の部		負債の部	
【流動資産】	3,210,796	【流動負債】	234,295
現金及び預金	3,205,287	未払金	234,295
商品	5,509	【固定負債】	1,019,620
		長期借入金	1,019,620
		負債の部合計	1,253,915
		純資産の部	
		【株主資本】	1,956,881
		利益剰余金	1,956,881
		その他利益剰余金	1,956,881
		繰越利益剰余金	1,956,881
		純資産の部合計	1,956,881
資産の部合計	3,210,796	負債及び純資産合計	3,210,796

一般社団法人はなそう基金の運営は、その活動の性質上特に大きな資産や負債を保有するものではありません。基本的には、流動資産(現金及び預金)が資産の大半を占め、「商品」として計上されているものは書籍・冊子等の在庫分です(それ自体も毎年必ず発生するものとは限りません)。また、負債の大半は創業時に設立時社員(代表理事 古森 剛)が無担保・無期限で融資したもので、その他は会計処理タイミングにより生じる未払金等となります。

2016年度 損益計算書

2016年1月1日～12月31日（単位:円）

【売上原価】		
期首商品棚卸高	5,509	
合計	5,509	
期末商品棚卸高	5,509	
商品売上原価		0
売上総利益金額		0
【販売費及び一般管理費】		
販売費及び一般管理費合計		2,889,838
営業損失金額		2,889,838
【営業外収益】		
受取利息	187	
雑収入	4,202,050	
営業外収益合計		4,202,237
【営業外費用】		
為替差損	14,414	
営業外費用合計		14,414
経常利益金額		1,297,985
税引前当期純利益金額		1,297,985
法人税等		74,600
当期純利益金額		1,223,385

一般社団法人はなそう基金の運営においては、「売上高」「売上原価」「売上総利益」のカテゴリに含まれるものは書籍・冊子等の販売に関わるものです。税法的には、この部分が営利事業に関わる売上関連項目となります。これらに紐づく販売費・一般管理費を最引いたものに関して、応分の税金を納めております（非課税事業がマイナス収支でも、別個に課税）。当基金における最大の収入項目は寄付を主体とする雑収入であり、こちらは非営利事業に関わるものとして非課税の扱いとなります。

2016年度 販売費及び一般管理費内訳

2016年1月1日～12月31日（単位：円）

旅費交通費	542,478
通信費	40,226
事務用消耗品費	6,319
新聞図書費	1,322
支払手数料	25,932
車両費	221,694
租税公課	227
支払報酬料	51,463
雑費	2,000,177
販売費及び一般管理費合計	2,889,838

一般社団法人はなそう基金の当期における販売費及び一般管理費の内訳における最大の項目は、当年度に関しましては新規に立ち上げたイベント「まるごと英語で夏祭り in 陸前高田」に関わる費目でした。その多くの部分は、上記分類では「旅費交通費」や「雑費」に含まれています。この他に、「Komo's英語音読会@陸前高田」に関わるガソリン代・高速道路代、英語サマーキャンプ(SCOA)への中高生派遣に伴う参加費及び交通費支援、三陸訪問ツアーやイベント開催に関わるレンタカー代等、陸前高田における懇親バーベキューや地元交流・懇親会等、「Komo's英語音読会@陸前高田」の会場使用、「英語音読会だより」やクリスマスカード等の印刷や送付、バルセロナ派遣中の諸費用、ウェブのメンテナンス、三陸鉄道イベント、クレジットカード寄付関わる諸手続き及び手数料、土業費用、租税公課 等があります。